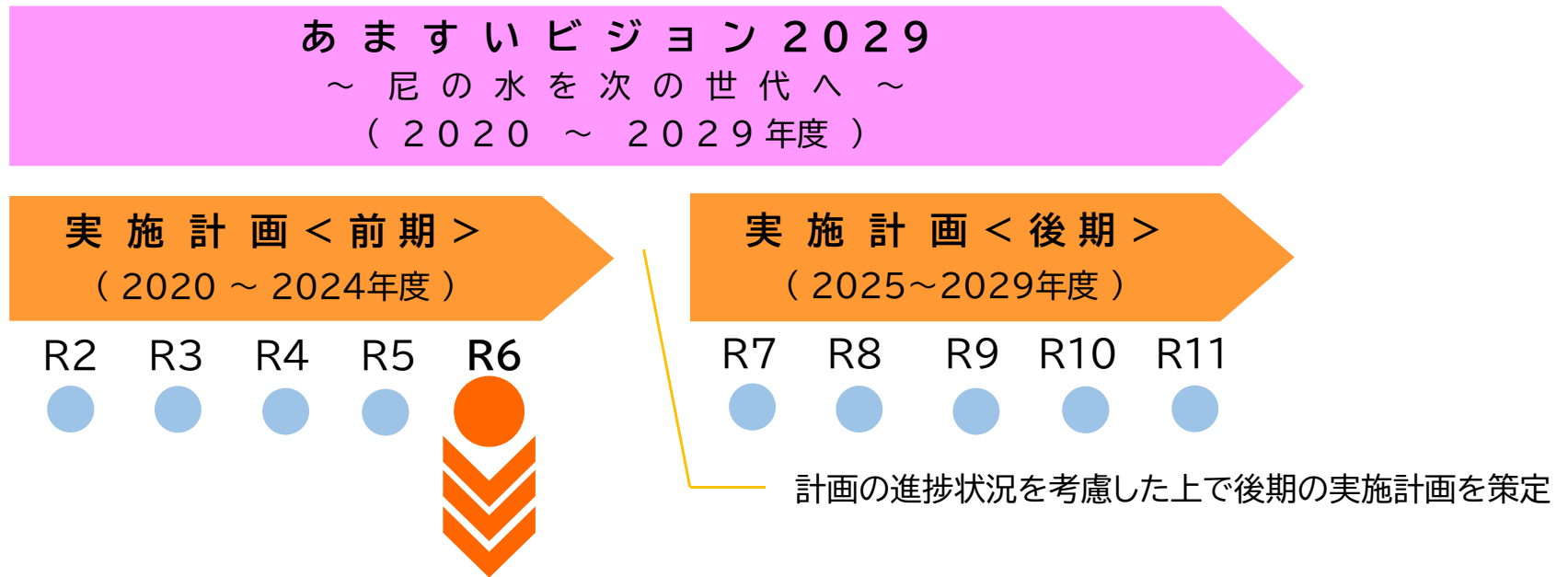


1. 令和6年度の主な取組

40年先の将来像を見据えた「あますいビジョン2029」(令和2～11年度)に基づき、将来においても安定的に事業を継続していくための取組を推進

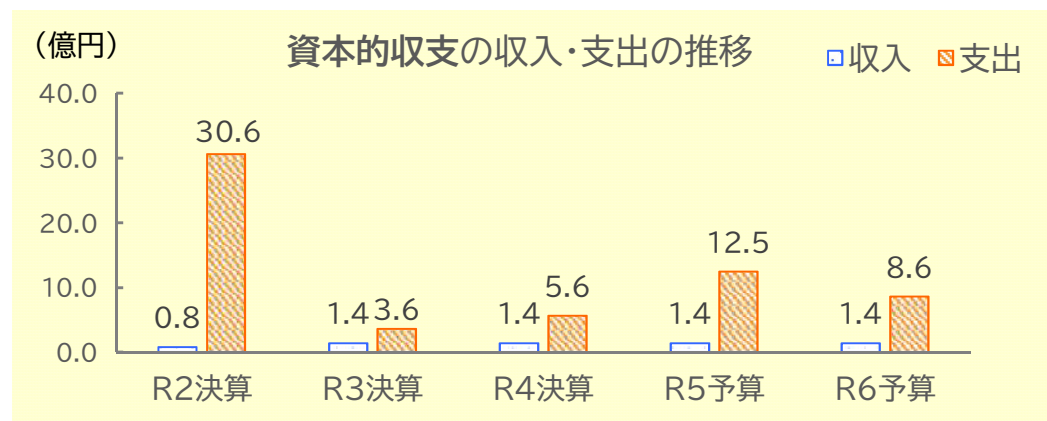
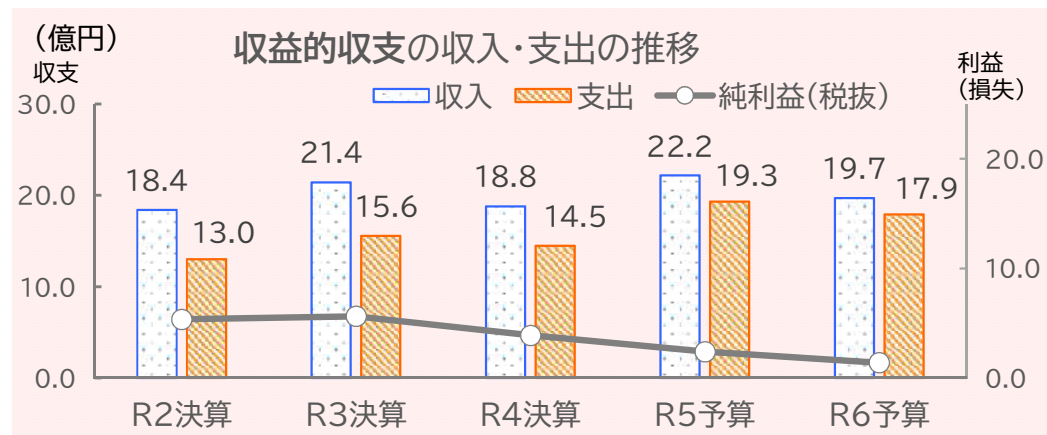


- ◆ 令和6年度（ビジョン前期最終年度）は、引き続き老朽化した配水管の計画的更新及び耐震化を推進する
- ◆ 神崎浄水場にある工業用水道の設備の改造工事や共同施設である一津屋取水場の設備更新に係る設計等を実施する
- ◆ 後期実施計画に向け、施設整備計画を見直すとともに、次期ビジョンに向け、他事業体と連携して園田配水場施設整備方針の検討を行う

2. 収益的収支と資本的収支(フローの視点)

(税込、単位:百万円)

区分		令和6年度	令和5年度	増減額	増減率	
収益的収支	経常損益	収入	1,771	2,014	① △ 243	△ 12.0%
		支出	1,794	1,931	② △ 137	△ 7.1%
		差引	△ 23	83	△ 106	
	特別損益	収入	203	203	0	0.0%
		支出	0	0	0	0.0%
		差引	203	203	0	
合計 (当年度純利益)		180 ③ (142)	286 (239)	△ 106 (△ 97)		
資本的収支	収入	139	139	④ 0	0.0%	
	支出	856	1,247	⑤ △ 391	△ 31.3%	
	差引(A)	△ 717	△ 1,108	391		
補てん財源(B)		541	688	△ 147	△ 21.3%	
資金収支(A+B)		△ 176	△ 420	⑥ 244		



(前年度との比較等)

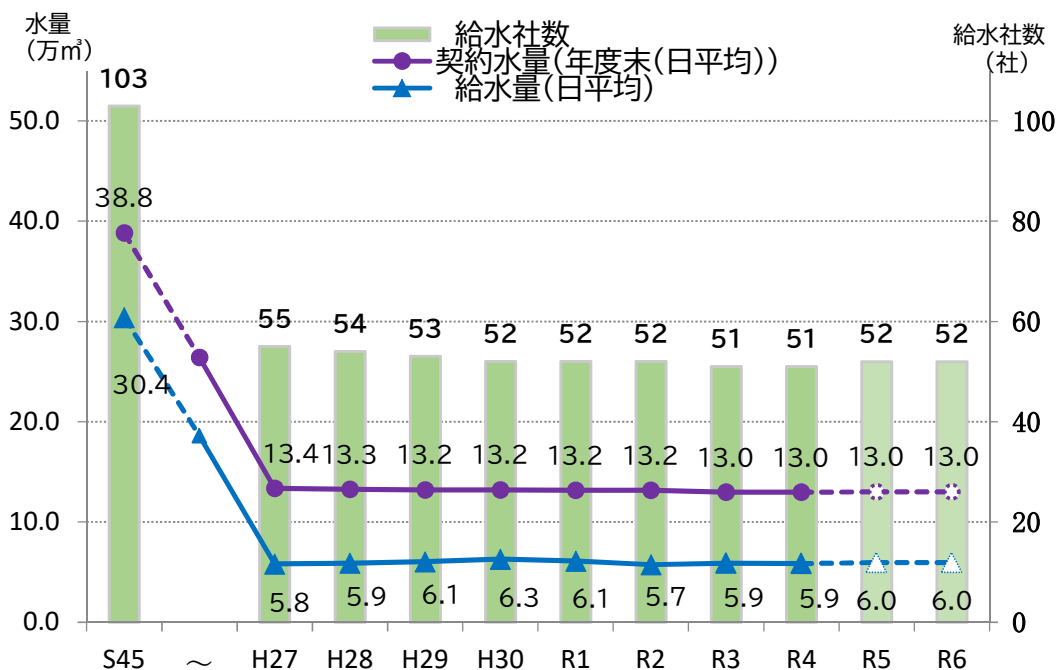
- ◆ 収益的収支の収入全体は2億4千万円減少 (①)、支出全体は1億4千万円減少 (②)、純利益は1億円減少して1億4千万円 (③)の見込み
- ◆ 資本的収支の収入は前年度と同額 (④)、支出は3億9千万円減少 (⑤)の見込み
- ◆ 資本的収支の不足額から補てん財源を差し引く資金収支は、2億4千万円の増加 (⑥)

収益的収支(1/2)

収益的収入

(税込、単位:千円)

款 性質	令和6年度	令和5年度	増減額	主な増減理由
工業用水道事業収益	1,974,069	2,217,110	△ 243,041	
経常収益	1,770,469	2,013,510	△ 243,041	
給水収益	1,191,960	1,194,891	△ 2,931	うるう年△3,256
長期前受金戻入	64,500	77,771	△ 13,271	
その他収益	514,009	740,848	△ 226,839	付帯事業収益の減(受配電設備△248,436)
特別利益	203,600	203,600	-	



区 分	令和6年度	令和5年度	増減	増減率	
給 水 社 数	52 社	52 社	0 社	0.0%	
契約水量	年間総量	47,473,000 m³	47,603,000 m³	△ 130,000 m³	△ 0.3%
	一日平均	130,063 m³	130,063 m³	0 m³	0.0%
給水量※2	年間総量	21,816,000 m³	21,810,000 m³	6,000 m³	0.0%

※1 契約水量 = 工業用水の利用にあたって申し込まれた水の量

※2 給水量 = 工水ユーザーが実際に使用する水の量

(前年度との比較)

- ◆ 給水収益は、前年度のうるう年の影響がなくなり、3百万円の減
- ◆ 三市共同施設に係る付帯事業収益が減少したことで、収入全体では2億4千万円の減

収益的収支(2/2)

収益的支出

(税込、単位:千円)

款	性質	令和6年度	令和5年度	増減額	主な増減理由
工業用水道事業費用		1,793,939	1,930,959	△ 137,020	
	経常費用	1,793,839	1,930,835	△ 136,996	
	人件費	195,314	177,817	17,497	
	給料・手当等	166,823	162,446	4,377	
	退職給付費	28,491	15,371	13,120	引当金繰入額の増(平均勤続年数の増)
	動力費	290,857	378,988	△ 88,131	燃料調整単価の減
	薬品費	24,142	21,898	2,244	
	減価償却費	389,732	382,526	7,206	
	資産減耗費	98,850	53,319	45,531	撤去工事費の増
	物件費	794,944	916,287	△ 121,343	付帯事業費の減(受配電設備△248,436)
	特別損失	100	124	△ 24	

(前年度との比較)

- ◆ 燃料調整単価の減により動力費が減少したほか、三市共同施設に係る付帯事業費が減少したことなどにより、支出全体では1億4千万円の減

資本的収支

資本的収入

(税込、単位:千円)

款 項 目	令和6年度	令和5年度	増減額	主な増減理由
工業用水道事業資本的収入	138,520	138,540	△ 20	
固定資産売却代	38,400	38,420	△ 20	
投資有価証券償還金	100,120	100,120	-	

資本的支出

(税込、単位:千円)

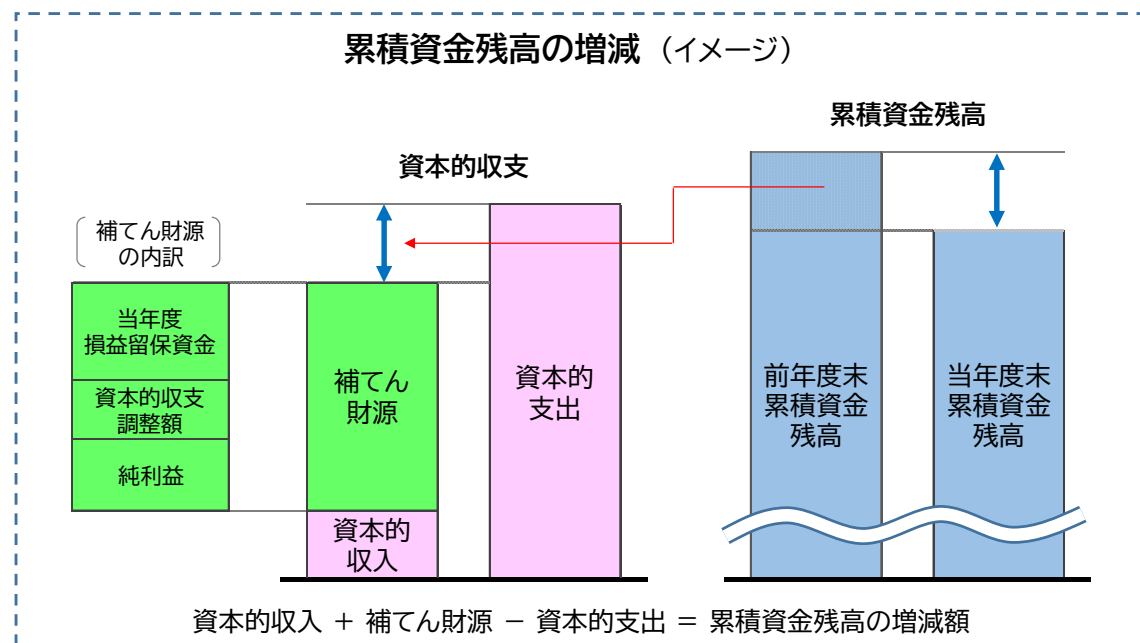
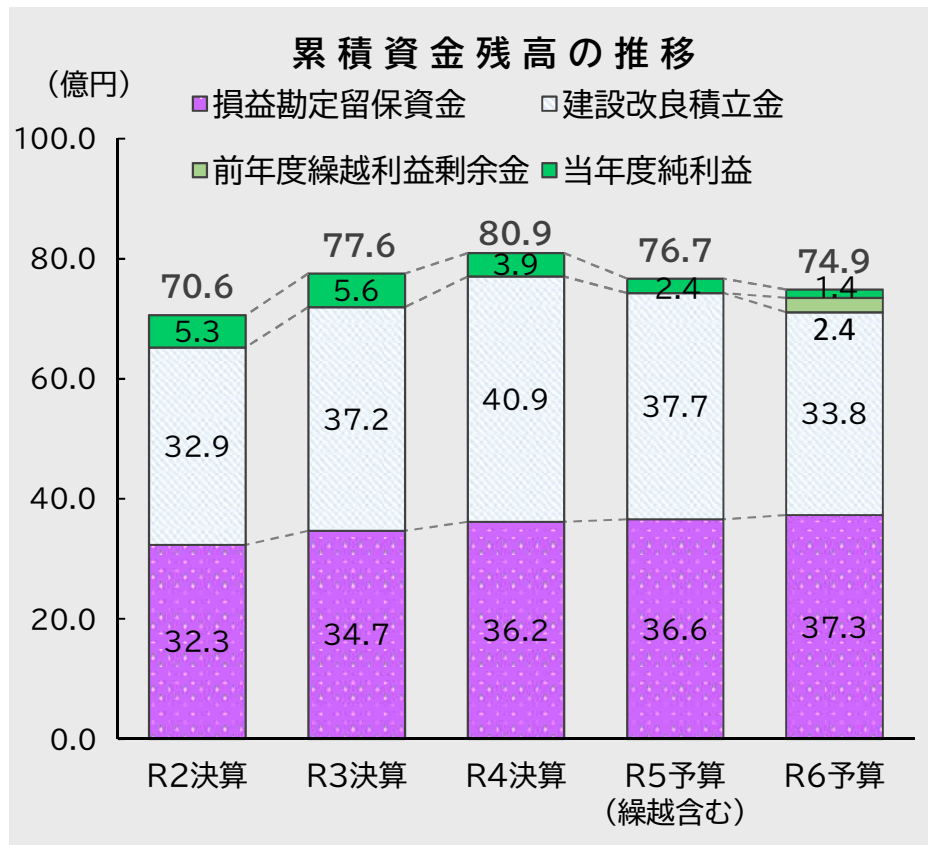
款 項 目	令和6年度	令和5年度	増減額	主な増減理由
工業用水道事業資本的支出	855,798	1,246,612	△ 390,814	
人件費	12,250	11,940	310	
建設改良費	740,548	1,131,672	△ 391,124	小田南公園管移設△344,106
投資有価証券	100,000	100,000	-	
予備費	3,000	3,000	-	

(前年度との比較)

- ◆ 資本的収入は、投資有価証券の償還金などでほぼ同額
- ◆ 資本的支出では、小田南公園の管の移設の減少等により、3億9千万円の減

3. 累積資金残高(ストックの視点)

累積資金残高



資金収支の推移

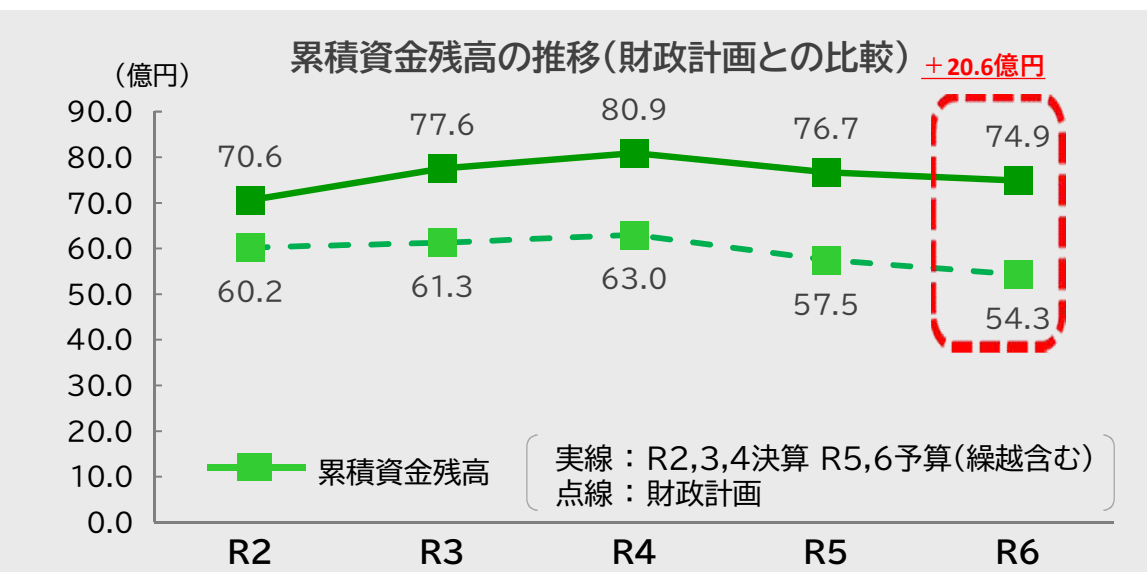
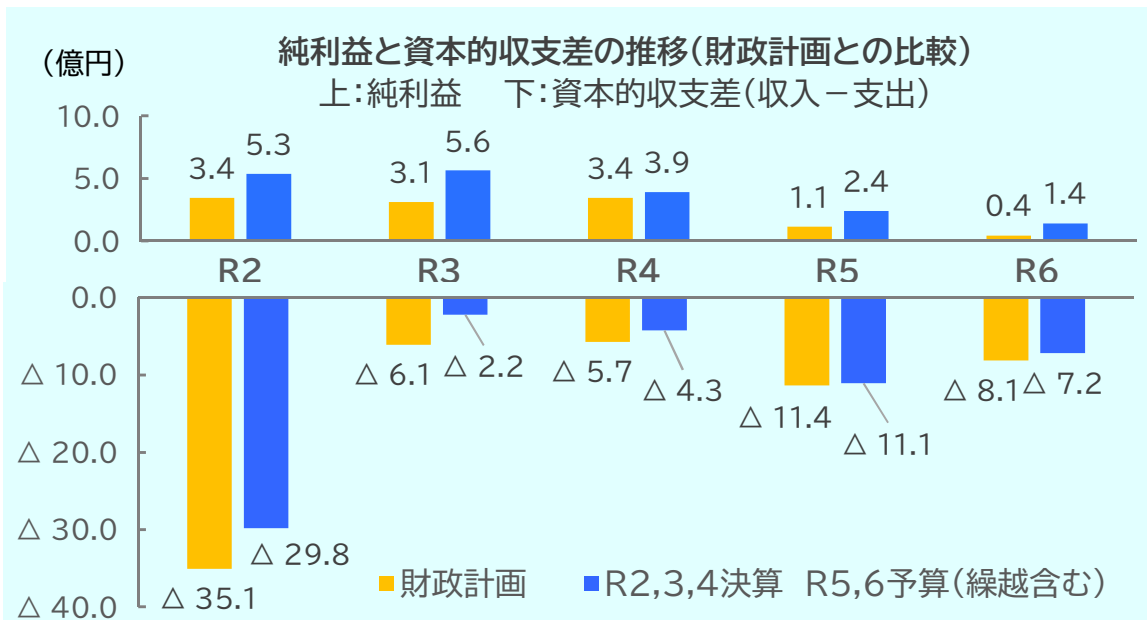
(単位:百万円)

	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算	R6予算
資本的収支の差(A)	△ 2,983	△ 223	△ 425	△ 1,108	△ 717
補てん財源(B)	871	920	763	688	541
資金収支(A+B)	△ 2,112	697	338	△ 420	△ 176

(累積資金残高の推移)

- ◆ 令和6年度末の累積資金残高は、令和5年度末と比較して1億8千万円減少し、74億9千万円の見込み

4. 財政計画との比較



令和6年度 収益的収支

(税抜、単位:百万円)

	財政計画(A)	予算(B)	差引(B-A)
収益的収入	1,820	1,855	35
収益的支出	1,779	1,713	△ 66
純利益	41	142	101

令和6年度 資本的収支

(税込、単位:百万円)

	財政計画(A)	予算(B)	差引(B-A)
資本的収入	138	139	1
資本的支出	952	856	△ 96
収支差	△ 814	△ 717	97
補てん財源	497	541	44
資金収支	△ 317	△ 176	141

(財政計画との比較)

- ◆ 令和6年度予算は、財政計画と比較して純利益は1億円増加し、資金収支は1億4千万円の改善
- ◆ 企業債は平成4年度から借入れを行っておらず、累積資金残高は計画と比べて20億6千万円増加